

## 国際化学肥料ニュース（2022年6月）

### 肥料業界の2022年6月動態

- \* 6月6日、ロシアの副首相 Victoria Abramchenko 氏はロシア化学肥料の輸出割当制度を2022年12月31日から2023年5月31日に延長すると発表した。
- \* モロッコ政府外貨管理局の最新資料によれば、中国の化学肥料輸出「法定検査」およびロシア化学肥料の輸出割当制度の影響を受け、モロッコのりん鉱石とりん酸肥料輸出量が急増した。2022年1～3月の第1四半期だけで輸出金額が約倍増の24.8億ドルに達した。
- \* 6月6日、インド政府の保健・家族福祉および化学肥料担当大臣を務めている Mansukh Mandaviya 氏はインタビューでインドが数年前から尿素の国内生産量を増やすために新規生産ラインの建設や老朽設備の更新に着手しているため、国内尿素生産量が大幅に増え、今年の Kharif および Rabi シーズンのためにすでに十分な在庫があり、12月までに尿素的輸入が不要であると強調した。また、インドの尿素輸入量が激減する影響で、近い将来に尿素的国際相場が急落する可能性があるだろうとも述べた。
- \* ブラジル現地からの報道によれば、農家は高価の化学肥料に遠慮して、購入量が大幅に減少した結果、ブラジル主要港に輸入化学肥料の在庫量が急増した。パラナグア港の責任者はパラナグア港にすでに350万トン化学肥料が在庫して、倉庫が満杯になっていると述べている。また、サントス港も肥料倉庫が満杯で、新規輸入量を受け入れできない状態となっている。
- \* 中国政府は特別援助の名目でパキスタンに20万トン大粒尿素的輸出を許可した。その FOB 価格が600ドル/トンで、6～7月に輸出する計画。
- \* 6月9日、カナダの Nutrien 社は2025年に年間塩化加里生産量1800万トンにして、2020年の1080万トンより40%、2022年の1500万トンより20%増やす計画を発表した。
- \* 6月第2週の尿素的国際相場は買い手が静観して、ロシア、北アフリカと中東の生産者が大量の在庫を抱えるため、価格が暴落した。東半球では、中国政府はパキスタンに20万トン大粒尿素的輸出が許可されたが、その FOB 価格が600ドル/トンしかない。イ

ンドの化学肥料担当大臣が国内尿素的生産と在庫が12月までの需要を満たして、大規模な輸入を行う必要がないとの発言で、中東産尿素がFOB600ドル/トン未満に下落した。

西半球では、ロシア産尿素が経済制裁の関係で、だぶつき、FOB500ドル/トンで買い手を求めている。ブラジルの買い手が2か月ぶりに市場に現れ、CFR570ドル/トンの見積りが提示された。北米もトウモロコシの肥料需要期が過ぎ、尿素価格が3月の市場最高値より30%以上も下落した。

- \* 6月上旬、バングラディッシュ農業省が70万トンDAPの国際入札を実施した。船積み期限は9月15日。応札量160万トン、そのうち中国品120万トン、残りはサウジアラビア品とヨルダン品である。中国品DAPの応札価格はFOB960~970ドル/トンである。中国政府は今回DAPの輸出を特別許可する見込みである。
- \* 6月23日、バングラディッシュ農業省の70万トンDAPの国際入札が開札された。落札したCFR価格が1019.74~1030ドル/トン、契約された購買数量81万トン超、そのうち70万トン以上が中国品で、ヨルダンDAPも8万トン入っている。
- \* ロシア政府の発表によれば、今年下半期(7~12月)の窒素肥料輸出割当量を830万トンに設定して、平常通りの数量である。また、6月の1ヶ月に限って化学肥料の輸出に割当量を設定せず、自由に輸出できるという。ロシア産化学肥料の主な輸出先はブラジル、メキシコなど南米諸国である。輸出量を復活させる理由は、ロシアのウクライナ侵攻により西側の経済制裁にクサビを打ち込むほか、国内に増え続けている化学肥料の在庫を減らすためだと推測される。この発表により、ブラジルの尿素価格が急落し、6月10日現在のCFRブラジル価格が564ドル/トンまで下落した。
- \* 6月第3週(13~19日)の窒素肥料国際相場が大幅に下がった。尿素については、5月下旬からはほぼすべての購買地域のバイヤーが市場に距離を置いて、何週間もわたって大きな取引がない。生産者は価格を大幅に引き下げるか、7月上旬にインドの尿素国際入札の可能性に期待しているほか選択肢がほとんどない。特に東半球では、需要不足で、中国尿素の厳しい輸出制限が解消されていないが、中東湾岸尿素のFOB価格が535ドル/トン、インドネシア尿素のFOB価格が546~547ドル/トンまで下がり続けている。

西半球では、エジプト尿素が6月の出荷分を維持するため、FOB価格が500ドル/トン前半まで下がっている。アルジェリア尿素がFOB500ドル/トン未満になった報告があり、3月下旬の最高値より600ドルも値下げした。アメリカ湾岸ではすでにFOB Nola 410ドル/トンで取引され、3月下旬にヒットした史上最高値より528ドル/トンも下がった。CFRブラジルも530ドル/トンまで下がった。

\* 中国税関の速報によれば、2022年5月の化学肥料輸出量が54.4%減の167万トン、その内訳は硫安が2.5%減の78万トン、尿素が85%減の9万トン、DAPが82.8%減の16万トン、MAPが38.9%減の22万トン。なお、1～5月の化学肥料輸出量が41.1%減の757万トン、その内訳は硫安395万トン、尿素54万トン、DAP110万トン、MAP60万トン。

一方、5月の化学肥料輸入量が4.5%減の64万トン、その内訳は塩化加里が1.8%減の54万トン、NPK化成肥料が36.4%減の7万トン、1～5月の化学肥料輸入量が16%減の393万トン、その内訳は塩化加里が14.4%減の346万トン、NPK化成肥料が31.7%減の37万トン。

\* アメリカのCF Industries社はイギリス事業を再構築する考えを表明した。ChesterにあるInce工場を完全閉鎖し、アンモニアと硝安の生産拠点をDurham州のBillingham工場に集合する。ヨーロッパ天然ガスの価格高騰により、Ince工場が2021年9月から生産を停止した。

\* この数週間の尿素価格の下落により、6月第3週（13～19日）の後半から尿素の取引が活発となり、買手が市場に戻ってきた。エジプトの生産者はこの1週間だけで少なくとも8万トンの尿素を販売した。その勢いに乗って、7月出荷分を週前半のFOB510ドル/トンから600ドル/トンに、アルジェリアの生産者も7月出荷分のFOB価格を最大620ドル/トンに引き上げた。

\* 6月8日のネパール新聞の報道によれば、ネパール政府はインドから計19.2万トンの尿素とDAPを7月中旬までに輸入し、水稻の栽培に供する。

\* 6月17日、ロシアの肥料メーカーUralchem社のCEO Dmitry Konyaev氏は記者インタビューにUralchem社とUralkali社が今年化学肥料輸出量を25～30%削減すると述べた。Konyaev氏はラトビアにあるUralchem社の専用ふ頭が西側の経済制裁により使用できず、ロシアのレーニングラード港だけの出荷となるため、取扱量が制限され、輸出量を削減しないと説明した。

\* 6月第4週（20～26日）の尿素国際相場が上昇に転じた。東半球では、インドネシアはFOB546～547ドル/トンで14万トン超の尿素を販売したほか、インドが7月に新しい尿素国際入札を行なう噂があり、今まで下がりつつある価格が下がり止まった。

西半球では、エジプトがわずか4日で7月出荷の尿素を12万トン超販売したため、エジプトのMopac社が8月出荷価格FOB740ドル/トンを要求し、6月第2週の価格よ

り 140 ドルも値上げした。また、天然ガス価格の堅調はヨーロッパの生産者と輸入業者にとって最大の懸念事項であるため、東欧の輸入業者は、ナイジェリアとアメリカから大粒尿素を確保した。

## 大手各社の営業業績

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* 中国烏蘭グループは内モンゴルに建設中の烏蘭泰安尿素工場が完成し、稼働し始めたと発表した。この尿素工場は石炭を原料にして、年間尿素生産能力 120 万トン、主に中国国内に供給するという。
- \* カナダの **Gensource Potash** 社はサスカチュワン州トガスク近郊にある **Tugaske** 加里プロジェクトの第 2 フェーズに 2 番目のモジュールを追加することを発表した。これにより **Tugaske** プロジェクトの塩化加里年間生産能力を 25 万トンから 50 万トンに倍増させる。
- \* 6 月 30 日、アンゴラの **Muga** 加里鉱山プロジェクトが正式に着工した。当該加里鉱山はスペインの **Highfield Resources** 社が開発を担当しているもので、確認された加里資源量 1 億 4600 万トン、平均 K<sub>2</sub>O 含有量 12.73%、予定投資額 3 億 5400 万ドル、2026 年に稼働し始める計画である。

### その他

- \* 中国税関の公開情報によれば、中国浙江省寧波税関が別の商品名義で申告して、尿素輸出の「法定検査」を回避する案件を摘発し、港で尿素 104 トンを押収した。この案件は乙仲が客先の依頼を受け、尿素を承知しながら別の品名で申告通関しようとする。客先と乙仲担当者が逮捕され、裁判にかけることになる。
- \* オランダの **OCI NV** 社は、ロッテルダム港にあるアンモニア輸入ターミナルを拡張し、新たな大規模な低炭素の水素需要に対応することを発表した。まず、2000 万ドルを投資して、現在の年間 40 万トンアンモニア取扱量を 2023 年に年間 120 万トンに拡大する。その後も需要に応じて、さらに 300 万トンに拡大することも視野に入れている。このアンモニアターミナルは、中東と北アフリカとアメリカからブルーアンモニアとグリーンアンモニアを輸入し、ヨーロッパの将来の水素不足に対応するための主要なインフラストラクチャである。

\* 中国税関の公表によれば、中国江西省南昌税関が別の商品名義で偽って、重過リン酸石灰を輸出しようとする事例を摘発し、計 679 トン重過リン酸石灰を押収した。

\* 6月30日、スウェーデンの Hexagon Group AG 社はシンガポールの Aries Fertilizers Group 社の 100%株式を取得して、傘下に収めたと発表した。Hexagon Group はこの買収により、肥料分野の貿易とマーケティング、ロジスティクスでの存在感をアジアに拡大し、世界市場でのさらなる成長の基盤を一層強化すると述べている。

Aries Fertilizers 社は、2012年4月に中国の国営企業とシンガポールの貿易商社との合弁会社として設立された肥料貿易商社で、アジアの肥料および肥料原料（主にリン酸と硫酸、硫黄）の取引に活躍して、年間取引量約 150 万トン、2021年の売上高が約 10 億ドルである。